**平成 22 年(2010 年)基準
山口県鉱工業指数改定の概要**

**平成 25 年(2013 年)12 月 13 日
山口県総合企画部統計分析課**

1. 改定の趣旨

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成22年3月統計基準設定）において「指数の基準時は、5年ごとに更新することとし、西暦年の末尾が0又は5である年とする」とされていることから、現行の基準である平成17年（2005年）から平成22年（2010年）を新たな基準時とし、ウェイトや採用品目等の見直しを行った。

2. 改定の対象とした指数

平成22年基準へ改定を行った指数は、以下の3系列である。

- ① 生産指数（付加価値額ウェイト）
- ② 生産者出荷指数
- ③ 生産者製品在庫指数

3. 改定の主な内容

（1）基準時及びウェイト算定年次の変更

指数の基準時及びウェイト算定年次を、現行の平成17年（2005年）から平成22年（2010年）に変更した。

指数値は、平成22年の平均を100.0とした比率で示される。

（2）業種分類の一部変更（資料1）

平成22年基準指数の業種分類は、原則として平成17年基準を踏襲しつつ、日本標準産業分類（第12回改定）への対応として旧「一般機械工業」を、「はん用機械工業」及び「生産用機械工業」に分割した。

（3）採用品目の見直し（資料2-1、2-2）

生産・出荷・在庫指数の採用品目は、主に経済産業省生産動態統計調査から選定した。採用品目の選定については、10000分の1以上ウェイトがあるものについては原則すべて採用し、統合・分割などの見直しも行った。また、採用単位についても見直しを実施した。

採用品目の改廃状況

指数の種類	平成22年 基準	平成17年 基準	差	差			
				新規	廃止	統合	分割
生産・出荷指数	229	234	▲5	11	▲16	1	1
在庫指数	169	181	▲12	8	▲20	1	1

(4) ウェイトの見直し(資料3)

業種別のウェイトは、製造工業については「工業統計調査」、鉱業については「経済センサス活動調査」を基礎データとして算定した。

また、品目別のウェイトは、工業統計のほか経済産業省生産動態統計や各種統計などにより業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分した。

生産・出荷・在庫指数におけるウェイトが増減した主な業種は、以下のとおり。

ウェイト変化状況(生産・出荷・在庫指数)

指数の種類	ウェイト増加業種	ウェイト減少業種
生産指数 (付加価値額ウェイト)	輸送機械工業 非鉄金属工業 ゴム製品工業	鉄鋼業 化学工業 生産用機械工業
出荷指数	石油製品工業 はん用機械工業 ゴム製品工業	生産用機械工業 金属製品工業 鉄鋼業
在庫指数	石油製品工業 非鉄金属工業 パルプ・紙・紙加工品工業	鉄鋼業 輸送機械工業 食料品・たばこ工業

(5) 季節調整方法の適用(資料4)

季節調整法は、平成17年基準と同様に、米国センサス局のX-12-ARIMAを用いた。平成17年基準からの主な変更点は以下のとおり。

- ① 季節調整の対象期間を、7年間(84ヶ月)から8年間(96ヶ月)に延長
- ② ARIMAモデルの選定方法を変更
 - i (011)(011)モデルで仮外れ値を検出
 - ii 仮外れ値を変数として設定した上で、BICの小さいスペック((010)(011)モデル)を選定
 - iii このスペックで外れ値処理を実施
- ③ 異常値の検出を毎年実施

将来の季節指数の安定化を図るため、毎年の年間補正時に異常値検出を行う。

4. 新基準への切替え時期と改定結果(資料5-1、5-2)

平成22年基準による指数値へは、平成25年10月速報公表分から切替えた。過去時系列については、平成20年1月以降について新基準による系列を作成した。また、平成19年以前については、平成20年1月～3月の時点で旧基準との接続を行い「接続係数」を用いて接続指数を整備した

$$\text{接続係数} = \frac{\text{22年基準季節調整済指数20年1月～3月平均}}{\text{17年基準季節調整済指数20年1月～3月平均}}$$

業種分類の新旧比較

《生産・出荷・在庫指数》

〈平成17年基準〉		〈平成22年基準〉	
鉱工業		鉱工業	
製造工業		製造工業	
鉄鋼業		鉄鋼業	
非鉄金属工業		非鉄金属工業	
金属製品工業		金属製品工業	
一般機械工業			
		はん用機械工業	新設
		生産機械工業	新設
電気機械工業		電気機械工業	
電子部品・デバイス工業		電子部品・デバイス工業	
輸送機械工業		輸送機械工業	
窯業・土石製品工業		窯業・土石製品工業	
化学工業		化学工業	
化学肥料		化学肥料	
ソーダ工業製品		ソーダ工業製品	
無機薬品・顔料・触媒		無機薬品・顔料・触媒	
高圧ガス		高圧ガス	
石油系芳香族		石油系芳香族	
環式中間物・合成染料		環式中間物・合成染料	
有機薬品		有機薬品	
プラスチック		プラスチック	
合成ゴム		合成ゴム	
塗料・印刷インキ		塗料・印刷インキ	
医薬品		医薬品	
火薬類		火薬類	
農薬		農薬	
石油製品工業		石油製品工業	
プラスチック製品工業		プラスチック製品工業	
パルプ・紙・紙加工品工業		パルプ・紙・紙加工品工業	
繊維工業		繊維工業	
食料品・たばこ工業		食料品・たばこ工業	
ゴム製品工業		ゴム製品工業	
印刷業		印刷業	
木材・木製品工業		木材・木製品工業	
鉱業		鉱業	
《参 考》		《参 考》	
産業総合（鉱工業、電力・ガス事業）		産業総合（鉱工業、電力・ガス事業）	
電力・ガス事業		電力・ガス事業	
機械工業	廃止	一般機械工業（旧分類）	新設
電気機械工業（旧分類）	廃止		
はん用機械工業（新分類）			
生産用機械工業（新分類）			

採用品目の新旧比較

《生産・出荷・在庫指数》

〈業種別〉

業種分類名	生産・出荷指数			在庫指数		
	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差
鉱工業	229	234	△ 5	169	181	△ 12
製造工業	226	231	△ 5	166	178	△ 12
鉄鋼業	19	20	△ 1	19	20	△ 1
非鉄金属工業	6	6	0	5	5	0
金属製品工業	13	14	△ 1	7	9	△ 2
(参考:17年基準一般機械工業)	-	22	4	-	4	△ 2
はん用機械工業	9	-	-	1	-	-
生産用機械工業	17	-	-	1	-	-
電気機械工業	4	2	2	3	1	2
電子部品・デバイス工業	4	5	△ 1	0	1	△ 1
輸送機械工業	7	9	△ 2	1	1	0
窯業・土石製品工業	15	16	△ 1	14	15	△ 1
化学工業	68	72	△ 4	67	71	△ 4
石油製品工業	14	15	△ 1	13	13	0
プラスチック製品工業	6	8	△ 2	5	7	△ 2
パルプ・紙・紙加工品工業	8	8	0	8	8	0
繊維工業	8	8	0	6	8	△ 2
食料品・たばこ工業	18	18	0	9	10	△ 1
ゴム製品工業	5	4	1	4	3	1
印刷業	2	2	0	0	0	0
木材・木製品工業	3	2	1	3	2	1
鉱業	3	3	0	3	3	0
電力・ガス事業	2	2	0	0	0	0

〈財別〉

財分類名	生産・出荷指数			在庫指数		
	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差
鉱工業	254	252	2	191	199	△ 8
最終需要財	88	86	2	49	51	△ 2
投資財	58	60	△ 2	29	32	△ 3
資本財	29	29	0	7	7	0
建設財	29	31	△ 2	22	25	△ 3
消費財	30	26	4	20	19	1
耐久消費財	7	2	5	7	2	5
非耐久消費財	23	24	△ 1	13	17	△ 4
生産財	166	166	0	142	148	△ 6
鉱工業用生産財	143	147	△ 4	124	132	△ 8
その他用生産財	23	19	4	18	16	2

(注) 1品目を2財に分割する品目があるので、業種別と財別の合計は一致しない。

新規採用品目及び廃止品目 《生産・出荷・在庫指数》

業種名	品目名	
	採用品目	廃止品目
鉄鋼業	変更なし	
非鉄金属工業	変更なし	
金属製品工業	ガス湯沸器 ガス風呂がま	鋼索 鉄くぎ 金網 ※ ² アルミニウムエクステリア
はん用機械工業	※ ¹ 歯車 ※ ¹ 直動システム	※ ² 回転送風機 ※ ² 油圧モータ
生産用機械工業	※ ¹ フラットパネル・ディスプレイ製造装置	
電気機械工業	太陽電池モジュール ワイヤーハーネス	
電子部品・デバイス工業		※ ¹ 抵抗器 ※ ² シリコンウエハ
輸送機械工業		※ ¹ 懸架制動装置部品
窯業・土石製品工業	※ ² 複層ガラス	板ガラス ※ ² 台所・食卓用陶磁器
化学工業	アニリン 発酵エチルアルコール	けい酸ナトリウム アセトアルデヒド ユリア樹脂 トルイレンジイソシアネート 酢酸エチル シンナー
石油製品工業		※ ¹ 石油ガス
プラスチック製品工業		プラスチック製パイプ プラスチック製継手
パルプ・紙・紙加工品工業	変更なし	
繊維工業		※ ² ニット製外衣 ※ ² 下着・補整着・寝着(ニット製・織物製)
食料品・たばこ工業	※ ¹ 凍結乾燥食品	葉たばこ
ゴム製品工業	変更なし	
印刷業	変更なし	
木材・木製品工業	床板	
鉱業	変更なし	

※¹は生産・出荷系列のみ新規追加・廃止※²は在庫系列のみ新規追加・廃止

継続採用品目の主な変更点 《生産・出荷・在庫指数》

業種分類名	22年基準品目名	17年基準品目名	変更内容
鉄鋼業	普通鋼冷延広幅帯鋼	磨帯鋼 普通鋼冷延広幅帯鋼	磨帯鋼と普通鋼冷延広幅帯鋼を統合
	電気亜鉛	亜鉛	亜鉛のうち、実績のあった電気亜鉛のみを採用
はん用機械工業	往復圧縮機	圧縮機	圧縮機のうち、実績のあった往復圧縮機のみを採用
	回転送風機	送風機	送風機のうち、実績のあった回転送風機のみを採用
	船用ウィンチ	船用ウィンチ	輸送機械工業から業種移動
生産用機械工業	産業用ロボット	産業用ロボット	部品・付帯装置を追加
	液圧プレス	液圧プレス・機械プレス	液圧プレス・機械プレスのうち、実績のあった液圧プレスのみを採用
繊維工業	下着・補整着・寝着(ニット製・織物製)	下着・補整着	寝着を追加
ゴム製品工業	タイヤ(乗用車・小型トラック用)	自動車用タイヤ	自動車用タイヤを分割
	タイヤ(特殊車両用)		

ウェイトの新旧比較

《生産・出荷・在庫指数》

〈業種別〉

業種分類名	生産指数			出荷指数			在庫指数		
	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差
鉱工業	10 000.0	10 000.0	0.0	10 000.0	10 000.0	0.0	10 000.0	10 000.0	0.0
製造工業	9 968.0	9 958.7	9.3	9 986.0	9 977.7	8.3	9 962.9	9 954.3	8.6
鉄鋼業	414.9	684.5	△ 269.6	903.3	972.6	△ 69.3	1 420.5	1 775.3	△ 354.8
非鉄金属工業	286.3	107.6	178.7	254.1	183.2	70.9	358.1	203.7	154.4
金属製品工業	291.8	349.5	△ 57.7	202.9	273.9	△ 71.0	127.1	152.5	△ 25.4
(17年基準)一般機械工業	-	585.9	△ 40.4	-	434.5	△ 62.5	-	155.1	△ 92.4
はん用機械工業	208.5	-	-	155.8	-	-	56.7	-	-
生産用機械工業	337.0	-	-	216.2	-	-	6.0	-	-
電気機械工業	76.2	64.4	11.8	59.7	54.6	5.1	93.4	15.2	78.2
電子部品・デバイス工業	399.4	449.9	△ 50.5	327.6	355.8	△ 28.2	-	50.0	△ 50.0
輸送機械工業	1 905.0	1 401.7	503.3	1 799.3	1 750.4	48.9	599.7	762.1	△ 162.4
窯業・土石製品工業	308.6	395.2	△ 86.6	250.0	280.5	△ 30.5	356.5	365.5	△ 9.0
化学工業	3 947.0	4 195.0	△ 248.0	2 594.3	2 606.9	△ 12.6	4 740.7	4 680.8	59.9
石油製品工業	353.7	437.0	△ 83.3	2 207.4	2 003.9	203.5	1 432.5	1 081.9	350.6
プラスチック製品工業	202.3	179.4	22.9	145.5	147.1	△ 1.6	117.8	102.4	15.4
パルプ・紙・紙加工品工業	159.3	151.9	7.4	161.4	161.6	△ 0.2	239.3	104.3	135.0
繊維工業	146.4	131.9	14.5	92.8	118.4	△ 25.6	121.7	82.7	39.0
食料品・たばこ工業	359.0	404.9	△ 45.9	261.8	328.8	△ 67.0	108.3	196.7	△ 88.4
ゴム製品工業	447.3	275.3	172.0	249.1	170.4	78.7	106.9	109.4	△ 2.5
印刷業	78.8	87.8	△ 9.0	41.9	63.8	△ 21.9	-	-	-
木材・木製品工業	46.5	56.8	△ 10.3	62.9	71.3	△ 8.4	77.7	116.7	△ 39.0
鉱業	32.0	41.3	△ 9.3	14.0	22.3	△ 8.3	37.1	45.7	△ 8.6
電力・ガス事業	812.2	796.5	15.7	631.5	570.9	60.6	-	-	-

〈財別〉

財分類名	生産指数			出荷指数			在庫指数		
	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差	22年 基準	17年 基準	増減 差
鉱工業	10 000.0	10 000.0	0.0	10 000.0	10 000.0	0.0	10 000.0	10 000.0	0.0
最終需要財	3 591.4	3 445.6	145.8	3 554.4	3 710.8	△ 156.4	1 972.7	2 135.5	△ 162.8
投資財	1 326.8	1 461.9	△ 135.1	1 200.7	1 375.3	△ 174.6	663.4	814.5	△ 151.1
資本財	882.3	830.7	51.6	729.4	773.0	△ 43.6	194.9	196.2	△ 1.3
建設財	444.5	631.2	△ 186.7	471.3	602.3	△ 131.0	468.5	618.3	△ 149.8
消費財	2 264.6	1 983.7	280.9	2 353.7	2 335.5	18.2	1 309.3	1 321.0	△ 11.7
耐久消費財	1 317.0	861.2	455.8	1 203.0	1 068.8	134.2	602.5	663.0	△ 60.5
非耐久消費財	947.6	1 122.5	△ 174.9	1 150.7	1 266.7	△ 116.0	706.8	658.0	48.8
生産財	6 408.6	6 554.4	△ 145.8	6 445.6	6 289.2	156.4	8 027.3	7 864.5	162.8
鉱工業用生産財	5 741.0	5 978.7	△ 237.7	5 083.7	5 067.7	16.0	6 919.3	6 827.4	91.9
その他用生産財	667.6	575.7	91.9	1 361.9	1 221.5	140.4	1 108.0	1 037.1	70.9

鉱工業指数における季節調整方法の適用について

1. 手法

平成 22 年基準鉱工業指数における季節調整は、米国センサス局の X-12-ARIMA を用いて実施した。季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている。(在庫指数については、季節要因のみ)。

具体的には以下の通り。

$$\text{季節調整済指数} = \text{原指数} \div (\text{季節} \cdot \text{曜日} \cdot \text{祝祭日} \cdot \text{うるう年指数})$$

2. X-12-ARIMA に用いるスペックファイル

平成 22 年基準改定時に使用したスペックファイルの見本は以下のとおり。

```
series { start=2005.1
        span=(2005.1, 2012.12)
        decimals=1 }
transform { function=log }
arima { model=(0 1 0)(0 1 1) }
regression { variables=(tdlnolpyear lpyear) →在庫の場合は、
             save=(td hol)                    regression の { } を削除
             user=(jap-hol)
             usertype=holiday
             start=2005.1
             file="xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx" }
forecast { maxlead=12 }
estimate { save=(mdl)
          maxiter=500 }
x11 { print=(none+d10+d11+d16)
      save=(d10 d11 d16)
      seasonalma=x11default }
```

3. 季節指数等の運用

平成 25 年 1 月以降の季節指数は、暫定季節調整方式を採用している。具体的には、平成 24 年の季節指数を適用している。これに対し、曜日・祝祭日・うるう年指数は、暫定方式を採らず、上記 2. で推計されたパラメータとカレンダーから計算して利用している。

4. 異常値処理

平成 22 年基準改定において、異常値が検出された系列と異常値処理を行った種別、年月は以下のとおり。

指数の種類	異常値種別	処理年月
生産指数 (付加価値額ウェイト)	TC(temporary change)	2009 年 1 月
生産者出荷指数	TC(temporary change)	2009 年 1 月

※生産者製品在庫指数については、異常値は検出されなかった。

これにより平成 22 年基準改定で修正した 2. ファイルは以下のとおり。

```
regression {variable=(tdlnolpyear lpyear tc2009.1)}
```

総合指数系列の新旧比較 《生産・出荷・在庫指数》

		生産(付加価値)				出荷				在庫			
		指数値		伸び率		指数値		伸び率		指数値		伸び率	
		22年基準	17年基準	22年基準	17年基準	22年基準	17年基準	22年基準	17年基準	22年基準	17年基準	22年基準	17年基準
原指数	平成20年	109.0	98.9			106.7	98.8			114.5	99.4		
	平成21年	91.6	86.1	△ 16.0	△ 12.9	93.2	87.2	△ 12.7	△ 11.7	104.0	90.0	△ 9.2	△ 9.5
	平成22年	100.0	92.0	9.2	6.9	100.0	93.0	7.3	6.7	100.0	86.2	△ 3.8	△ 4.2
	平成23年	97.4	90.5	△ 2.6	△ 1.6	98.0	91.2	△ 2.0	△ 1.9	102.0	88.7	2.0	2.9
	平成24年	89.1	82.4	△ 8.5	△ 9.0	90.1	83.8	△ 8.1	△ 8.1	104.8	94.3	2.7	6.3
季節調整済指数	平成20年												
	1月	113.1	103.2			109.9	101.8			113.8	98.0		
	2月	117.0	104.3	3.4	1.1	115.1	104.7	4.7	2.8	112.7	96.7	△ 1.0	△ 1.3
	3月	114.3	102.7	△ 2.3	△ 1.5	110.3	99.7	△ 4.2	△ 4.8	116.4	100.4	3.3	3.8
	4月	114.7	101.7	0.3	△ 1.0	114.7	104.5	4.0	4.8	108.7	93.5	△ 6.6	△ 6.9
	5月	116.4	107.2	1.5	5.4	113.5	104.8	△ 1.0	0.3	113.3	98.4	4.2	5.2
	6月	112.6	103.3	△ 3.3	△ 3.6	112.3	103.6	△ 1.1	△ 1.1	112.4	98.7	△ 0.8	0.3
	7月	111.7	100.6	△ 0.8	△ 2.6	109.9	101.8	△ 2.1	△ 1.7	110.4	98.2	△ 1.8	△ 0.5
	8月	110.3	101.8	△ 1.3	1.2	108.6	100.0	△ 1.2	△ 1.8	117.8	102.5	6.7	4.4
	9月	105.6	95.8	△ 4.3	△ 5.9	102.5	96.7	△ 5.6	△ 3.3	116.2	100.6	△ 1.4	△ 1.9
	10月	102.1	94.0	△ 3.3	△ 1.9	93.5	93.0	△ 8.8	△ 3.8	117.1	102.7	0.8	2.1
	11月	95.5	87.5	△ 6.5	△ 6.9	91.5	85.3	△ 2.1	△ 8.3	120.6	103.1	3.0	0.4
	12月	92.4	83.2	△ 3.2	△ 4.9	93.9	87.2	2.6	2.2	114.3	99.5	△ 5.2	△ 3.5
平成21年	1月	81.2	79.0	△ 12.1	△ 5.0	81.6	79.3	△ 13.1	△ 9.1	108.2	94.6	△ 5.3	△ 4.9
	2月	83.7	81.2	3.1	2.8	83.1	78.5	1.8	△ 1.0	110.3	94.8	1.9	0.2
	3月	82.8	79.2	△ 1.1	△ 2.5	86.0	81.5	3.5	3.8	108.7	92.1	△ 1.5	△ 2.8
	4月	86.4	83.3	4.3	5.2	89.2	84.1	3.7	3.2	107.2	92.0	△ 1.4	△ 0.1
	5月	90.1	87.0	4.3	4.4	92.4	86.8	3.6	3.2	108.0	93.6	0.7	1.7
	6月	93.8	87.8	4.1	0.9	94.2	87.7	1.9	1.0	104.8	92.7	△ 3.0	△ 1.0
	7月	94.5	87.5	0.7	△ 0.3	96.9	89.6	2.9	2.2	99.0	88.2	△ 5.5	△ 4.9
	8月	95.9	88.8	1.5	1.5	96.7	89.6	△ 0.2	0.0	99.0	86.5	0.0	△ 1.9
	9月	97.7	89.2	1.9	0.5	99.8	91.3	3.2	1.9	99.1	85.8	0.1	△ 0.8
	10月	98.5	90.6	0.8	1.6	101.0	93.4	1.2	2.3	101.9	88.1	2.8	2.7
	11月	98.0	90.9	△ 0.5	0.3	98.9	93.3	△ 2.1	△ 0.1	101.1	85.2	△ 0.8	△ 3.3
	12月	97.4	89.8	△ 0.6	△ 1.2	99.6	92.5	0.7	△ 0.9	100.6	85.9	△ 0.5	0.8
平成22年	1月	98.5	93.0	1.1	3.6	98.6	95.1	△ 1.0	2.8	102.4	87.6	1.8	2.0
	2月	98.3	92.1	△ 0.2	△ 1.0	99.0	93.5	0.4	△ 1.7	102.9	87.0	0.5	△ 0.7
	3月	100.9	92.8	2.6	0.8	100.1	93.7	1.1	0.2	103.0	87.4	0.1	0.5
	4月	105.9	97.3	5.0	4.8	105.2	95.8	5.1	2.2	101.5	87.8	△ 1.5	0.5
	5月	99.8	92.9	△ 5.8	△ 4.5	102.2	94.5	△ 2.9	△ 1.4	101.0	87.6	△ 0.5	△ 0.2
	6月	101.4	91.9	1.6	△ 1.1	100.4	91.8	△ 1.8	△ 2.9	101.1	88.0	0.1	0.5
	7月	101.7	93.3	0.3	1.5	102.0	92.8	1.6	1.1	99.4	88.7	△ 1.7	0.8
	8月	98.4	89.4	△ 3.2	△ 4.2	99.3	92.0	△ 2.6	△ 0.9	98.7	86.0	△ 0.7	△ 3.0
	9月	94.5	85.7	△ 4.0	△ 4.1	93.4	87.0	△ 5.9	△ 5.4	97.6	85.5	△ 1.1	△ 0.6
	10月	97.2	89.5	2.9	4.4	97.7	91.7	4.6	5.4	96.9	83.7	△ 0.7	△ 2.1
	11月	101.7	92.7	4.6	3.6	103.2	96.3	5.6	5.0	96.7	81.9	△ 0.2	△ 2.2
	12月	102.7	93.5	1.0	0.9	100.4	93.3	△ 2.7	△ 3.1	98.7	83.1	△ 2.1	1.5
平成23年	1月	103.0	94.9	0.3	1.5	102.6	95.8	2.2	2.7	100.5	85.9	1.8	3.4
	2月	99.2	93.4	△ 3.7	△ 1.6	102.5	98.0	△ 0.1	2.3	99.5	85.5	△ 1.0	△ 0.5
	3月	97.1	92.5	△ 2.1	△ 1.0	99.4	92.1	△ 3.0	△ 6.0	99.5	83.4	0.0	△ 2.5
	4月	96.8	91.0	△ 0.3	△ 1.6	95.8	87.2	△ 3.6	△ 5.3	101.9	87.2	2.4	4.6
	5月	98.6	91.4	1.9	0.4	95.2	88.8	△ 0.6	1.8	107.9	92.1	5.9	5.6
	6月	96.8	90.0	△ 1.8	△ 1.5	98.2	91.3	3.2	2.8	102.4	89.9	△ 5.1	△ 2.4
	7月	97.0	90.2	0.2	0.2	95.2	88.5	△ 3.1	△ 3.1	103.9	92.6	1.5	3.0
	8月	98.0	90.0	1.0	△ 0.2	98.6	91.5	3.6	3.4	103.1	91.7	△ 0.8	△ 1.0
	9月	99.4	91.1	1.4	1.2	100.0	91.5	1.4	0.0	102.3	90.6	△ 0.8	△ 1.2
	10月	98.8	90.2	△ 0.6	△ 1.0	100.6	92.7	0.6	1.3	102.7	89.9	0.4	△ 0.8
	11月	94.9	88.2	△ 3.9	△ 2.2	96.2	90.5	△ 4.4	△ 2.4	100.9	88.3	△ 1.8	△ 1.8
	12月	91.4	85.2	△ 3.7	△ 3.4	93.8	89.1	△ 2.5	△ 1.5	99.3	87.6	△ 1.6	△ 0.8
平成24年	1月	90.2	84.0	△ 1.3	△ 1.4	91.4	86.6	△ 2.6	△ 2.8	97.9	85.4	△ 1.4	△ 2.5
	2月	90.3	80.9	0.1	△ 3.7	88.0	79.4	△ 3.7	△ 8.3	100.2	89.6	2.3	4.9
	3月	97.4	91.0	7.9	12.5	93.2	88.1	5.9	11.0	100.6	89.4	0.4	△ 0.2
	4月	90.1	84.1	△ 7.5	△ 7.6	87.0	80.1	△ 6.7	△ 9.1	103.4	93.3	2.8	4.4
	5月	88.0	80.1	△ 2.3	△ 4.8	90.5	83.3	4.0	4.0	102.8	92.6	△ 0.6	△ 0.8
	6月	87.5	82.3	△ 0.6	2.7	89.5	83.9	△ 1.1	0.7	106.9	97.3	4.0	5.1
	7月	85.6	78.8	△ 2.2	△ 4.3	88.3	80.1	△ 1.3	△ 4.5	108.7	102.5	1.7	5.3
	8月	91.1	82.3	6.4	4.4	90.0	82.4	1.9	2.9	114.6	106.4	5.4	3.8
	9月	83.6	76.7	△ 8.2	△ 6.8	85.1	79.8	△ 5.4	△ 3.2	109.2	99.4	△ 4.7	△ 6.6
	10月	81.8	76.3	△ 2.2	△ 0.5	86.2	81.6	1.3	2.3	102.7	91.0	△ 6.0	△ 8.5
	11月	87.7	80.6	7.2	5.6	89.9	82.6	4.3	1.2	103.1	92.9	0.4	0.2
	12月	93.4	86.7	6.5	7.6	97.8	90.6	8.8	9.7	107.1	94.1	3.9	3.2
平成25年	1月	89.3	84.8	△ 4.4	△ 2.2	93.3	89.5	△ 4.6	△ 1.2	104.0	91.3	△ 2.9	△ 3.0
	2月	97.7	90.9	9.4	7.2	103.4	96.5	10.8	7.8	101.8	90.3	△ 2.1	△ 1.1
	3月	93.5	86.4	△ 4.3	△ 5.0	97.2	89.7	△ 6.0	△ 7.0	103.7	90.9	1.9	0.7
	4月	92.0	86.3	△ 1.6	△ 0.1	93.9	84.2	△ 3.4	△ 6.1	102.2	90.2	△ 1.4	△ 0.8
	5月	92.8	85.5	0.9	△ 0.9	96.3	88.1	2.6	4.6	101.9	89.2	△ 0.3	△ 1.1
	6月	90.9	85.7	△ 2.0	0.2	92.1	85.9	△ 4.4	△ 2.5	102.8	91.5	0.9	2.6
	7月	91.4	84.0	0.6	△ 2.0	93.2	85.3	1.2	△ 0.7	102.6	92.8	△ 0.2	1.4
	8月	85.6	79.5	△ 6.3	△ 5.4	90.7	83.5	△ 2.7	△ 2.1	101.8	91.9	△ 0.8	△ 1.0
	9月	92.2	83.1	7.7	4.5	100.4	90.6	10.7	8.5	99.5	89.0	△ 2.3	△ 3.2
	10月	97.8		6.1		100.2		△ 0.2		103.2		3.7	